

社会福祉法人翠燿会

令和元年度事業報告書

特別養護老人ホームグリーンヒル
グリーンヒル短期入所生活介護
グリーンヒル居宅介護支援事業
グリーンヒルデイサービスセンター
同上 サテライト南デイホーム
グリーンヒル訪問介護
グリーンヒル福祉タクシー

特別養護老人ホームグリーンヒル八千代台
グリーンヒル八千代台短期入所生活介護
グリーンヒル八千代台居宅介護支援事業
グリーンヒル八千代台小規模多機能型居宅介護
同上 サテライト勝田台
グリーンヒル八千代台訪問介護
グリーンヒル八千代台キッズルーム

障害児通所事業
グリーンヒルキッズ村上
グリーンヒルキッズゆりのき台

自立援助ホーム
グリーンヒル若葉ハウス

八千代市勝田台地域包括支援センター
介護予防支援事業

法人本部総務課

令和2年5月

社会福祉法人 翠燿会

令和の時代がはじまり、この3年は、29年4月の社会福祉法改定により、社会福祉法人制度改革が本格的に実施され、30年度4月介護報酬改定により更にサービスの質の確保と経営力が問われる3年でありました。

経営組織のガバナンスの強化、事業経営の透明化の向上（財務諸表・現況報告・役員報酬基準等の公表等）、財務規律の強化（適正かつ公正な支出管理・内部留保の明確化・社会福祉事業等）への計画的な投資等、そして地域における公益的な取り組みを実施する責務であり、法人職員の協力によりまずは順調に進めることができました。*公益的取り組みは別紙のとおり。

3年間経過措置であった地域加算6級地から5級地への適正運営を中心に、重度化、医療を要する利用者の入所をはじめ、通所介護の運営強化、更なる在宅福祉介護の強化、そして障害児の通所事業の安定などが挙げられますが、職員の頑張りにより一定の方向性を確立し進めることができたと考えます。

同時に、令和元年9月千葉県下豪雨、停電等（房総半島台風、東日本台風）に伴う災害や、令和2年1月からの新型コロナウイルス感染症等の発症など、身近なところでその対策の重要性が注目されている。法人は、ご利用者、職員の健康を守ることを大切に、かつ必要以上に怖れることなく、日々のご利用者の生活に寄り添いその責務を果たしてまいりたい。

また、来年度介護保険法並びに介護報酬の改正・改訂に関しては、今後も地元千葉県、八千代市との情報共有、協働のもと、ご利用者、職員に必要な改正に向けて、発信してまいりたい。

このような状況下にあって、特に2025年にむけた指針（地域包括ケアシステム）を理解し、グリーンヒル、グリーンヒル八千代台の2拠点が、地域の福祉・介護サービスの中核となり、ご利用者が期待する、在宅を中心としたサービスから施設サービスまでの提供を実施いたします。

また放課後等デイサービス事業の充実から昨年自立援助ホーム開設と展開しておりますが、更に児童又はそれに準ずる社会事業の充実にむけ取り組んでまいります。

そのためには、この厳しい変化の時代にあって「法人の安定した経営」「ご利用者、ご家族に満足いただけるサービスの徹底」「介護人材の確保と育成」「社会福祉法人の在り方の再構築」を中心に本年度も、ご利用者、ご家族、そして地域から信頼される法人を目指してまいります。

各事業所の事業報告は、以下の通りです。

【令和元年度 特養・短期グリーンヒル 事業報告】

1) 目標稼働に対する実働状況

- ・令和元年度における特養・短期の目標値 117 に上半期（4月～9月）114.9%、下半期は116.6%になり、結果的には115.7%となりました。上半期での入院者や要介護4.5の待機者が少なく長期入所へと繋げられなかった為に、数値に反映出来なかった事が要因に挙げられます。また、10月の消費税増税に伴い、食費や居住費、日用品代等の値上げによる増収に留まりました。

2) 組織体制の強化

- ・ターミナルケアに関しては嘱託医との連携、特に**配置医師緊急時対応加算の整備**により、ご家族にも安心した看取り介護を実施出来ています。（令和元年は対象者10名）
- ・留学生や技能実習生が入職し、指導者や同僚の教育及び**マニュアルの整備**、県の助成金による外部からの日本語学習の支援及びweb利用による語学能力の向上を図る事で、昨年7月入職の2名についてはシフトを任される人材として育成することが出来ました。また、12月入職者についても、残るは技能実習評価試験を受講するのみとなりました。技能実習生の受け入れについては、一定の受け入れマニュアルが構築できたと思います。
- ・県の助成金を利用しての初の介護ロボットの導入については、令和2年1月から**介護ロボット(ハグ)**を使用し現在4人のご利用者の移乗やトイレ介助に使用する事で職員の腰痛の負担軽減が図られ、介護ロボットの意義が現場内に普及することができました。今後は更に限定フロアだけでなく各フロアに配置し、ご利用者有効な活用を継続していきたいと考えています。

3) その他

- ・令和2年2月以降、新型コロナウイルス感染症の影響から対応に追われる中でご家族との面会の中止や職員の予防策など（出勤前後の検温や手洗い・アルコール消毒・換気）の徹底により一定の効果が得られています。但しご利用者にとっては外出・面会（5月上旬からテレビ電話の活用）の中止等、生活スタイルに大きな影響を与えてしまう事となりました。職員に於いては自身が発症者になってしまわないかと不安な日々を過ごしながらも感染源とならないように取り組んでいます。

令和元年度事業報告書

グリーンヒル上高野 医務課

令和元年度の新入所者は、24名。

看取りを含め永眠された方は、22名。1ヶ月の平均入院数は、3、5名。

感染症は、ノロウイルス、インフルエンザ罹患者なし。

気候や、環境変化による、流行の兆しがなかった事や、個々の予防知識が高まり、実際に環境整備が、的確に行われた結果とも思われる。感染防止における意識を常に持ち続けることが利用者にとって安全で健康的な生活保持するために重要であると考えます。

看取りについては、嘱託医の変更に伴い、昼夜問わず協力体制がほぼ確立されつつある。

回診では、症状が軽度の段階で、報告、指示受けをすることで、早期発見、早期治療に努めることが出来た。結果、R1、11月とR2、2～3月下旬まで、入院者なしで経過する事に繋がったと思われる。

昨年に引き続き、肺炎球菌ワクチン予防接種該当者10名実施した。今後も継続したいと思う。

今年に入り、世界的に流行しているコロナウイルス感染については、現段階では、まだ終息には、至っていない。毎日、職員、利用者の検温を含む健康状態を観察し、異常兆候の早期発見に努め、引き続き気持ちを引き締めて取り組んでいきたいと思う。

令和2年度 管理部栄養科 事業実績報告

グリーンヒル栄養管理室 グリーンヒル八千代台栄養管理室

栄養科の理念

- ・ご利用者の健康状態や身体状況に応じた栄養管理(栄養ケアマネジメント)サービスを提供し、多職種と協力して行い、個人にあったADLの維持・向上に努めます。
- ・ご利用者にふさわしく安全で質の高い食事サービスを提供します。

令和2年度

利用者食事摂取推奨量

(2015年版、日本人の食事摂取基準に準拠)

GH	令和2年 4月1日 現在
エネルギー	1645kcal
蛋白質	61.6g

GH八千代台 令和2年 4月1日 現在

エネルギー	1637kcal
蛋白質	61.4g

平成31、平成31年4月・令和1年5月～令和2年3月における入所者の実態

平成30年度 グリーンヒル入所者実績				令和2年度 グリーンヒル入所者計画			
	男性	女性	平均		男性	女性	平均
入所者	23名	79名		入所者	22名	84名	
年齢	80.8歳	85.9歳	83.4歳	年齢	82.3歳	86.9歳	84.6歳
介護度	3.7	4.1	4.0	介護度	3.5	3.5	3.5

平成31年度 グリーンヒル八千代台実績				令和2年度 グリーンヒル八千代台計画			
	男性	女性	平均		男性	女性	平均
入所者	3名	26名		入所者	4名	25名	
年齢	84.0歳	88.5歳	86.2歳	年齢	88.3歳	88.2歳	88.2歳
介護度	4.0	4.4	4.2	介護度	4.0	4.6	4.3

平成30、令和元年における食数実績

	食数実績	令和2年度	食数実績	H30年度
グリーンヒル	利用者	14581食	利用者	133620食
	職員	11607食	職員	12023食
グリーンヒル	利用者	52571食	利用者	51205食
八千代台	職員	6600食	職員	4157食
合計		216596食		201005食

特定給食施設の管理 フードサービス形態 クックチル A セントラルキッチン

給食業務完全委託方式
A [グリーンヒル特養・通所
グリーンヒル八千代台特養
B 給食業務直営方式
グリーンヒル八千代台・小規模多機能

A方式の帳票類は別途区分管理とする
・災害時発生時、食中毒・感染症発生時、マニュアルに準ずる
・大量調理施設マニュアルに準ずる
・食品衛生法の衛生安全管理の維持徹底
・特別な個別膳 調整食(ミキサー食)
・保存食・保健衛生の実施(厨房内消毒4回/年・グリスアップ 1回/年)
院外調理(ひまわり)→小規模施設(サテライトキッチン)
配膳・調理従事者の個人の衛生管理
・備蓄食品(非常用食品)の保管・資料 献立表 (有)

非常用食品の確保

- ・災害対策マニュアル(保有)
- ・天災害時の調理を必要としない食事サービスとして備蓄食品
- ・施設諸行事に伴う食事支援

- ・行事企画内容により別途料金徴収することもある。
- ・個別対応食(やわらぎ膳)は誕生日会費より個別充当
- ・職員、実習生、外来者への予定実施計画

行事食

会議

栄養委員会(給食会議・NCM会議)
・給食会議(食事委員会と調整連絡)
・NCM会議(低栄養者及びケアプラン委員会と合同)

グリーンヒル
定例 第3木曜日 午前9時30分～ 会議室 12回/年
グリーンヒル八千代台
日時不定期 1回/月

栄養ケア・マネジメント

基本方針
I. NCMサービス
4回/年スクリーニング実施
II. 経口維持実施(経口維持 I・II)
(医師・歯科医師による評価者)

①食事調査実施
・食事喫食量・水分摂取量・排尿量記入表
・生活と身体状況記録(介護・看護・栄養記録)
内容 身体計測、摂取目標量、
摂取状況調査項目、栄養アセスメント

栄養管理

*食事調査は利用者の共有個別資料とする。
②低栄養状態の改善として、栄養計画による
・食事・栄養管理、評価判定を行う。
・低栄養状態の改善目標として、栄養強化食品を推奨する。(但し、個別管理品は個別負担とする)

本年度の経緯と考察

- ①教育研修計画
 - ・栄養ケアシステムの向上
- ②所轄の保健所の巡回指導実施
- ③グリーンヒル(CK)とグリーンヒル八千代台(SK)の給食はデリバリー方式、グリーンヒル八千代台・調理チーム結成(小規模多機能 サテライトグリーンヒル南デイホーム)(H28年4月)方式(CK)(SK)との業務は分離独自型
供食対象:利用者食・職員食
- ④施設管理栄養士のシフト編成
- ⑤給食栄養利用者向け広報誌発刊
- ⑥臨地実習実施

- ・看護、介護、栄養の専門性の連携を適切に実施した
- ・給食栄養管理の改正に伴う帳票管理 巡回指導の実施なし
- ・給食経営管理部門として一全面委託化
業務委託、食材料費委託
及び院外調理(ひまわり)を導入した小規模多機能
- ・CKグリーンヒルのイベント、栄養委員会など
グリーンヒル八千代台(SK)と連携・提携区分、
分離区分を共有化した
※CK=セントラルキッチン・SK=サテライトキッチン
- ・グリーンヒル 8:30～17:30 (2名)
- ・グリーンヒル八千代台 8:30～17:30 (1名)
- ・“食&栄養”おいしいお知らせ 4回/年
- ・聖徳大学人間栄養学部 3学年 4名
- ・昭和女子大学生生活科学部 3学年 4名

以上

令和元年度 事業報告

グリーンヒル居宅介護支援事業所

1. 目標稼働

- ・計画作成者数・・・給付月平均 113 名
総合月平均 19 名
- ・認定調査人数・・・170 名
- ・その他の加算等あり

2. 令和元年度総括

- ・平均計画数は給付の方は達成できたが、総合事業は依頼が少なかったの
で達成はできませんでした。また、地域包括からの困難ケースや生保の
方の依頼もありました。
- ・認定調査は八千代市をはじめ、船橋、佐倉、他市町村からの調査依頼が
あり、受けています。なかなか、調査を受けていただけないので、困っ
ていますと市町村の方が話されていました。
- ・情報共有の為に月 1 回の定例会議と年 2 回の八千代台との合同会議を開
催しました。また、毎週 1 回、困難事例検討会も開催しました。
- ・ケアマネのスキルアップと事業所加算の取得に、他事業所（他法人）と
合同で研修（事例検討）を開催が必要なので、他事業所と研修を行いま
した。
- ・研修は毎月の定例会議の時に行っています。また、地域包括、ケアマネ
ネット、事業者協議会、他事業所等が開催する研修会に参加して個々の
スキルアップに日々努力をしてきましたが、コロナウイルス感染症によ
り、研修等が中止になっています。
- ・毎月のモニタリングで自宅訪問を行っていますが、コロナウイルス感染
予防の為に、訪問ではなく電話でのモニタリングに変更になっています。
- ・法人行事支援も行いました。

居宅としての社会貢献

・地域包括主催の民生委員との交流会に参加

交流会に参加して、その地域の現状がわかり、相談を受けてアドバイスをすることがあります。また、その相談から、ケアマネの依頼につながる

ケースもありました。いつでも相談にのれる事も伝え、介護を一人で抱え込まないようにと市民の方に話しをしてくださいと話しました。

交流会に参加して、民生委員と知り合いになり、担当のケースの情報交換が直接できるようになりました。

- ・独居の方等の通院への付き添い

ケアマネは相談に乗るのが仕事なので、困っている時は相談にのり、必要時は付き添いもしています。

- ・地域住民の方々への相談窓口

病院から福祉相談の窓口として居宅名をあげさせてほしいと依頼あり、問題ないことを伝え、病院内に掲示しています。

その他にも常に相談、ケアマネ依頼を受けています。

- ・認知症ケアサポートの講習を受けたので地域住民に貢献していきたい。

令和元年度事業報告
グリーンヒルデイサービスセンター
南デイホーム(併設)

1】 令和1年度利用状況(本体通所介護)

- ・年間を通じて、1日平均利用26名を目標としてサービスを行いました
が、年間23名ほどの新規利用者がいたものの、利用中止者も多く登録者
数としては70名前後で推移していた状況で、月の利用請求人数としては
平均、月65名程となっている。1日の平均利用者としては、前年度より
0.5人の減で23.9人となってしまった。
職員の退職もあり、厳しい現状ではあるが今年度においても、一定の収
入にて黒字で決済ができたと考えています。

(サテライト南デイホーム)

- ・年間の目標として、1日6名を目標として行ってきましたが、年末頃より
利用中止者が増え、新規のご利用者もなかなか獲得できない状況で、年の
平均利用者数においても1日平均3.9人と減少してしまいました。
収入に関しては、赤字の決済となってしまう次年度について、職員の配置
や人件費等の検討が必要と考える。

令和2年度の目標・課題

- ・現在新型コロナウイルス拡大により、サービスを中止されている方が10
名ほどいる中、感染予防対策を徹底し職員全体で頑張っていますが、この
状況下で新規の受け入れ等、なかなか厳しい現状でもあり、今回の感染拡
大が縮小し、通常の実施を行う事ができる状況となり、利用者の皆さん
が安心・安全に利用できるよう準備をしていきたいと思えます。
前年度同様、新規利用者の獲得に努め、南デイについては現状の職員体制
を見直しつつ、新規利用者を見つけていきたいと考えます。

【利用目標】

本体デイ：1日平均26名

南デイ：1日平均5名

を目標としてサービスを行っていきます。

令和元年度グリーンヒル訪問介護事業報告

【1】令和元年度の状況

令和元年度は、月 100 人目標としていましたが、職員の退職等もあり、平均実績人数として月 94 名程度となっています。

前年同様、新規利用者の受け入れはしつつも、サービス回数の多い方などは、なかなか予定が取れず、受けきれていない状態でした。

新型コロナウイルス対策については、マスクや衛生用品を可能な限り配布し、現場のヘルパーが困らないように対応しました。

利用者の状況については、人との接触を避ける目的で、主に要支援の方がヘルパー利用を控える動きがありました。

【2】令和元年度の目標

今年度においては、職員の退職があったものの上高野の常勤ヘルパーが増えたので、出来るだけ新規ケースの受け入れを行っていきたいと考えます。今年度の目標値としては、月の目標を 100 名として職員全体で取り組んでいきたいと考えています。

八千代台においては、再開も含め小規模多機能との連携も図り、出来るだけ以前の体制を維持できるようにしていく予定です。

今年度においても、特に八千代台方面の常勤・登録ヘルパーなどの補充を考えたいと思います。

毎月行っているヘルパー研修も、実技指導や講義の時間を多く取り、充実させていく予定です。

(別紙 1)

研修日時予定	研修内容
4月最終金曜日	令和2年度事業計画について
5月最終金曜日	感染症・食中毒予防について ・感染症とは ・感染症の種類 ・予防するには?? ・生活援助での食中毒予防のポイント
6月最終金曜日	ヘルパー業務の区分と実際① ・基本サービスと個別サービスについて (身体介護、生活援助) 初回訪問時の心得、サービスに関するルール、記録の書き方
7月最終金曜日	ヘルパー業務の区分と実際② ・サービス提供にあたっての基本的事項 基本姿勢・行動指針・個人情報保護・接遇
8月最終金曜日	認知症介護について ホームヘルパーだからできる認知症ケア
9月最終金曜日	突然の事故・緊急対応について ・おかしいと感じた場合の確認事項と対応 ・事業所の緊急時の体制について ・災害発生時の対応 応急処置、救命処置について
10月最終金曜日	苦情・相談対応について 倫理規定、鍵・金銭管理について
11月最終金曜日	ノロウイルス、インフルエンザ等の感染症対策 (実地)
12月最終金曜日	身体介護研修①
1月最終金曜日	・事件事例、ヒヤリ・ハット事例の検討 ・苦情、相談事例の検討
2月最終金曜日	身体介護研修②
3月最終金曜日	ヘルパー自己評価

【令和元年度 事業報告】

特別養護老人ホーム グリーンヒル八千代台

短期入所生活介護 グリーンヒル八千代台

1. 目標稼働・施策(令和元年度)の達成状況 (○数字はR1 事業計画の原文)

①稼働率(長期+短期):「月 38.8 名以上の稼働」「年間稼働率 99.5%目標」

⇒【達成】月平均 38.9 名 ※年間稼働率 99.74%

※長期入居者(28名)男女内訳:男性 4 名 女性 24 名 ※3 月末現在

※長期入居者(28名)介護度内訳:(介 3:1 名 介 4:12 名 介 5:15 名)

⇒内訳より、男性利用者の減少また重度化の進行がうかがえる。

②日常生活継続支援加算の算定継続(46 単位/日:ユニット型個室)

⇒【達成】下記要件を算定根拠とし継続。

・新規入所者の内(前 12 ヶ月)介護度 4・5 の割合:70%以上

…年平均 100% ※長期入所者全体 年平均介護度 4.5

・新規入所者の内(前 12 ヶ月)認知症度Ⅲ以上の割合が 65%以上

…年平均 100% ※認知症専門ケア加算該当者:全体 85.7% (3 月末時点)

③看取り介護の推進・看取り介護加算の算定継続

(死亡日 1,280 単位/前日及び前々日 680 単位/4 日以上 30 日以下 144 単位)

⇒【達成】該当者 4 名中 2 名(他 2 名については医療機関治療中に逝去)

同意書・プラン・経過記録・振り返りを実施。

④アウトカム評価(褥瘡マネジメント加算・排せつ支援加算)の算定

⇒【達成】褥瘡マネジメント加算の算定継続

【未達成】排せつ支援加算 ※書式(根拠)の確立また医療連携不十分

⑤サービス担当者会議及び多職種カンファレンスの強化

⇒【達成】サービス担当者会議の実施、介護・看護・機能等、個別計画書の運用が確立。

⑥短期入所生活介護の加算算定継続

⇒【達成】個別機能訓練加算(56 単位/日)の算定

看護体制加算Ⅰ・Ⅱ、認知症専門ケア加算Ⅱ、機能訓練体制加算の算定継続

2. 今年度の実績

①介護計画書の運用(PDCA サイクルの確立)

・看護師、機能訓練指導員、管理栄養士と多職種協働での取り組みを実施。個別計画書(介護・看護・栄養・機能)を作成し運用することで、その方に対しての対応方法の根拠を見出し実践する事が可能となった。

②地域貢献への取り組み実施

・共生 Café(ふらっとホーム)の開設また専門職派遣(別紙参照)等、地域に向けた集いの場所、学習支援や福祉教育を提供していく支援体制の構築ができた。

3. 次年度の課題

以下の課題（取り組み不十分）が残ったため、目標として継続、発展へ取り組みたい。

- ① 職員間でケアの根拠を理解しチームで共有することができる。
 - ・アセスメント・ケアプラン・24時間シート・介護計画書・各種記録などを多職種で活用し、ケアの根拠を説明することができる。
- ② 教育・介護マニュアルを用い、指導内容の伝達方法を明確にする。
 - ・リーダー（主任・副主任含む）また専門委員会を中心に、理論（根拠）・実践方法を正確に指導する事で、介護力（基礎・応用）を高め、現場職員のレベルアップを図る事ができる。

以上

【令和元年度 事業報告】

グリーンヒル八千代台 医務課

今年度の新規入所者は3名であり、看取りの方2名を含め永眠された方は4名でした。看取りをされた方々は全員老衰で永眠されました。昨年度と比較すると入所者数は1名少なく、永眠者は2名多くありました。入院者数は4名で、2名は入院し2～3日後に亡くなられ、今年度の入院者は昨年度の8名の半分となりました。現在も1名は胆のう炎で入院中です。

褥瘡の発生者は1名で踵に発生（看取り介護中）してしまい、除圧・皮膚観察の不十分からの発生と考えます。

インフルエンザ・ノロウイルス等、罹患者の発生は昨年度に続き今年度もなく、うがい・手洗いの徹底と換気・環境整備をした結果と考えます。

現在の新型コロナウイルス対策として、3月1日より家族（親族）による入所者への面会を制限。【入所者：健康チェックと1日1回の検温】【職員：健康チェックと1日2回の検温（自宅・出勤時）】、【外来者：健康チェックと検温（来場時）】を徹底している状況です。加えては施設内の環境整備（消毒・換気等）の徹底により、施設での発生は未だ0件で経過しています。終息するまでの間、現在の対応を引き続き徹底し、利用者の皆様の健康管理に十分配慮して参りたいと思います。

以上

令和元年度 事業報告

グリーンヒル八千代台居宅介護支援

1. 目標稼働

・計画作成者数・・・要介護請求件数 月平均 83 件

要支援請求件数 月平均 22 件

・その他加算等あり

2. 令和元年度総括

- ・実績目標件数としましては、正規雇用 3 名を想定して掲げた件数のため、事業所内職員の状況から目標件数に達していない事が課題です。
- ・近年地域包括からの要支援者の新規依頼が増加傾向にあり、八千代台地域のみならず、勝田台、大和田、村上地域の要支援のケースの委託を受けています。
- ・毎週 1 回、居宅内での会議を行っており、情報共有と共に各々のスキルアップや担当ケアマネの孤立防止を図っています。
- ・他法人との事例検討会では、当事業所から事案を提出しその後の支援に生かしました。
- ・年明けからは新型コロナウイルスの影響で中止となる研修が出てきましたが、それまでは市役所で開催された地域ケア会議に事業者協議会として参加をさせていただいたり、また傾聴でも参加をし、その他ケアマネネット、地域包括、医療機関が主催する研修に積極的に参加をしました。
- ・法人主催の行事の支援を行いました。

小規模多機能型居宅介護サテライト グリーンヒル勝田台

【令和元年度 事業報告】

1. 目標

令和元年度のサテライトについては、平均介護度 2.1（30 年度より+0.2 上昇）要介護 3～4 の方々を泊まり(本体)中心数名受け入れることで平均介護度を上昇させることができたが、年間平均登録者 11.9 名・年間平均稼働率 99.3% という結果となった。平均介護度が上昇する一方で、入院者及び他施設入所者が増え、稼働率を 100%にする事ができず登録制サービスにおけるバランスをとっていくことの難しさが現れる結果となった。小規模多機能型居宅介護は介護度によって収支に違いが出るだけではなく、新規登録者の状況と現登録者の状況(入院・入所)を予測して、登録するバランス判断が必要であり、運営そのものも脅かしかねない。

人材において、現状事業所で欠員が出てから募集を始める突発的採用が行われており、人材不足を解消できず、すぐに採用できる人材紹介や派遣に頼りがちになり、採用コストが高く、時間をかけられないので、少ない候補者の中から選ばざるを得ない状況となっていることから法人本部及び他部門との協働により早期に脱却し、計画的な人材獲得ができる体制を整え、戦略的採用に切り替えること急務である。

2. 内容

・本体であるグリーンヒル八千代台との連携体制を整えていく中で、LINEWORKS を使うことで介護場面や連絡事項等が迅速に行えるようになってきているが、互いへの相互の方針がずれていたり思いが共有されていないなどのコミュニケーション不足や両事業所(八千代台・勝田台)の人材バランスがうまく取れなくなることもあり、計画作成担当者を事業所毎に配置せざるを得ない事により登録のバランス判断が難しい状況となってしまうので、風通しのよい部門へと切り替えるためにも、法人内のコミュニケーション量を増やす制度改革も同時に行なってもらえるように法人本部に提案していく共に、事業所間における課題を可視化することで、お互いがアイデアを出し合い、業務処理を効率化させ、社会的資源を損失させさせることなく、積極的にご利用者の受け入れを行ない、稼働率を上げるだけではなく超高齢化社会の社会的課題の解決にもつながると考えている。

3. サービスについて

・計画に基づいて支援を行ない、ご利用者の状況に応じて、「通い」「訪問」「泊まり」のサービスを組み合わせ、八千代台・他部署と連携、協働を行なう共に、医療連携として主治医に日々の様子をお伝えし、地域での生活が継続できるよう支援、体調変化等によるサポートへの柔軟な対応が行えた。

・「地域の拠点」として、地域になくはならない事業所となるために、地域の夏祭り・防災訓練・サンコーボ餅つき、地域サークルやボランティアの方々と一緒に開催する「ステーションギャラリー展」などを行うことにより小規模多機能のご利用者が地域参加していく機会を提供し、地域の一員として、自治会便り制作、地域ゴミ拾いなどに参加、おとなの学校・地域サークル（サルボボ）開催により地域の方々も集える場づくりおこない、地域との相互作用の関係構築に努めていくことが出来つつあったが、年度末における新型コロナウイルスにおける地域活動の停止を余儀なくされており、事業所への通いサービスも難しい状態となっている中で安全性を考慮しながら再開に向けた取り組みと現マニュアルの見直しを行ないながら地域住民の方々にも安心・安全なサービス提供として受け入れてもらえるようにしていくことが必要である。

グリーンヒル八千代台 小規模多機能型居宅介護

【令和元年度 事業報告】

1. 目標

令和元年度の小規模多機能については、目標値である28名登録以上については、年間平均28.7名（稼働率98.9%）とクリアできたものの【30年度より-0.9下降】という数値となり、小規模多機能型居宅介護は介護度によって収支に違いが出る中で平均介護度2.5となり、目標であった介護度2.7には及ばなかった。12月頃より特養及びグループホーム、サー高住への入所・病院へ入院によりサービス中止になる方も多く、最終的に3月末の利用者数は27名となり新型コロナウイルスによる新規利用希望の激減等により苦しい局面を迎えてた要因として、新規登録者の状況と現登録者の状況(入院・入所)を予測して、登録するバランス判断と決断が関係職員間でのズレが生じてしまったことが要因と考えられる。しかし、今までは「看取り加算事業所」でありながら加算請求を行なうまでに至らなかったが、今年度、自宅での看取りを支援するケースが1件(看取り加算)あり、地域包括ケアの一端を担うことができました。小規模多機能型居宅介護として、地域の互助組織やボランティアなどを支えていく必要があり、支援を必要とする人が求めているものを住民と共に考え、関わっていくことを今後も重要項目として取り組んでいく。

法人及び各事業所が抱えている人材・人員においては「足りない・育たない」など漠然としたものから早急に脱却するためにも、戦略的採用・育成へ必要な数値を把握することを行ない「数値の見える化」を行ない厳しい環境の中で採用・育成プログラムの計画的行っていくプロセス・仕組みづくりが急務と考えられる。

2. 内容

・情報漏洩防止のために法人全体のデータを管理するサーバ及びネットワークのセキュリティ対策を強化することにより安定運用を図ることが出来た一方で、「緊急事態宣言」時においてIoTへの新たな取り組みが延滞してしまうこととなってしまった。これは経営陣に対して、各部署が決断に必要な材料を収集、分析し、戦略を立案する力なかった共に、法人各部署間のコミュニケーションが取れていないことが如実に現れる結果となり、法人本部・八千代台（特養・SS・居宅介護支援・訪問介護・栄養課・キッズルーム）上高野（特養・SS・通所介護・居宅介護支援など）や勝田台地域包括支援センターとの多職種連携・協働を強化・実行・連携関係をより強固のものにしていく必要がある。

3. サービス提供について

地域ニーズの対応につきましては、社会福祉法人八千代市社会福祉協議会と共催で《高齢者・障がい者・子どもたちが笑顔になれる居場所：共生Café ぷらっとホームグリーンヒル》として「みんなが集う場所」の提供、「子育てや介護予防教室などの各種の地域交流会、サークル」の開催の運営等法人内の他事業と協働し、社会貢献活動を行なうことにより、地域住民とボランティアとの交流など新たな人のつながりも生まれ、地域社会に貢献することができました。今後は、その輪を広げていくことを目指していきたい。

・コミュニケーションツールとして、LINEWORKSを導入し、1年以上経過。即時の発信により、情報共有のスピードが速くなり各現場（訪問先など）でも確認が取りやすくなっている、ただ、職員の入れ替わりが激しく、ICTのみならず職員間での意見交換もしっかり行ない、連絡・報告・相談を基本に、今後もサービスの質の向上に取り組んでいくことが必要である。

グリーンヒルキッズ 村上
【令和元年度 事業報告】

1. 目標について

① 稼働率 年間稼働率 87.7%

平日は1日10名利用を確保できた。祝祭日の利用が少なく、稼働率は目標を達成することができなかった。

2. 内容について

稼働率向上の取り組みについて

- ・新規利用者もあり、毎日10名の利用者を確保することができた。しかし、祝祭日や学校の長期休業中は利用者が少なく、年間を通して安定した稼働率を確保することがむずかしかった。

3. サービス提供について

- ・利用児童の学年が中・高学年中心となり、個人の特性に合わせた療育の成果が見られるようになった。
- ・グリーンヒルキッズの特質である、『学習支援』『生活スキル向上のためのSST』の更なる充実をはかるため、職員の資質向上・スキルアップの研修をおこなう必要性がある。
- ・毎月1回行う『父母の会』は、保護者の情報共有や情報交換の良い交流の場となり、参加者も増え、定着してきている。今後はこれをさらに発展させ、地域との連携につながる支援の一助にしていきたい。
- ・学校などの関係機関とのさらなる連携に努める。

グリーンヒルキッズゆりのき台

【令和元年度 事業報告】

1. 目標について

- ① 稼働率 年間稼働率 93.8%

2. 内容について

稼働率向上の取り組みについて

新規開設から2年が経ち、利用児童数は定着してきた。

児童は感染症にかかると利用できないことが多く、祝祭日も家族で過ごすため利用しないことが多い。そのため、安定した稼働率が確保できない。契約数を多くして、祝祭日利用希望児童の確保に努めたが、コロナウイルスの影響で、年度末（2020年3月）の稼働率が激減したため年間平均稼働率は減少した。

3. サービス提供について

- ・職員配置に関しては、学校送迎・自宅送迎の職員の確保が急務である。
- ・児童指導員の人材雇用に努める。
- ・グリーンヒルキッズの特質である、『学習支援』『生活スキル向上のためのSST』のさらなる充実・職員の資質向上・スキルアップのため、研修の時間を十分に確保する。
- ・『父母の会』の開催により、保護者間の情報共有や情報交換の良い機会となっている。今後はこれをさらに発展させ、地域との連携につながる支援の一助にしていきたい。
- ・児童はもとより、保護者の支援も、大きな課題の一つである。
- ・子どもの支援に欠かせない関係機関との連携のため、学校・教育委員会や市の子ども相談センター・県児童相談所・発達に関する病院などと綿密な連絡体制を構築し、情報共有・支援方法の一体化に努める。

令和元年度 グリーンヒルキッズ 村上 実績報告

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年合計	年平均
利用者人数	19	19	20	21	20	20	20	21	20	21	21	21	243.0	20.3
延べ日数	195	187	178	206	187	184	191	202	192	189	182	164	2257.0	188.1
新規利用者数	1	0	1	1	2	0	0	1	0	1	0	0	7.0	0.6
登録中止利用者数	1	0	0	0	3	0	0	0	1	0	0	0	5.0	0.4
上限管理実人数	4	4	4	6	6	5	5	5	5	5	5	5	59.0	4.9
事業所営業日数	21	23	22	21	23	21	22	22	21	20	20	22	258.0	21.5
延べ利用可能人数	210	230	220	210	230	210	220	220	210	200	200	220	2580.0	215.0
1日平均利用者数(予算10名)	9.3	8.1	8.1	9.8	8.1	8.8	8.7	9.2	9.1	9.5	9.1	7.5	105.2	8.8
稼働率	92.9%	81.3%	80.9%	98.1%	81.3%	87.6%	86.8%	91.8%	91.4%	94.5%	91.0%	74.5%		87.7%
前年度稼働率	99.5%	88.3%	87.3%	98.1%	83.5%	79.0%	94.1%	89.1%	82.9%	89.5%	91.5%	90.5%		89.4%
前年度との比較	-6.6%	-7.0%	-6.4%	0.0%	-2.2%	8.6%	-7.3%	2.7%	8.5%	5.0%	-0.5%	-16.0%		-1.8%

令和元年度 グリーンヒル若葉ハウス 事業報告

1. 目的

児童福祉法第6条の3、児童福祉法第33条の6「児童自立生活援助事業」として第2種社会福祉事業に位置付けられた施設です。就労又は就学する児童に対して社会的自立の促進を目的とする。

2. 内容

- 1) 就労、就学への取り組み姿勢及び職場の対人関係についての相談、援助。
- 2) 地域との連携を深めて地域の理解を得るとともに協力体制を整える。
- 3) 社会生活を営むために必要な力を身につけさせる。
- 4) 必要に応じて心理的な側面からの援助を実施する。
- 5) 職場開拓、就労援助。
- 6) 児童相談所などとの連携による児童の家庭環境の調整。
- 7) 各関係機関との連携を図り児童の支援を強化する。
- 8) 当ホームを退所した後のアフターケア。

3. 定員 女児6名

4. 対象児童

義務教育終了から原則20歳までの児童であり児童福祉法第33条の6第1項の規定に基づき援助の実施が認められたもの。

5. 職員配置 管理者1名、常勤職員2名、非常勤2名

6. 研修(外部)

- ・第12回全国自立援助ホーム長研修会・総会(2019.4/22-23)
- ・DV・児童虐待相談新任職員研修(2019.6/11・6/18)
- ・全国自立援助ホーム協議会女性スタッフ研修会(2019.7/8-9)
- ・全国自立援助ホーム協議会第26回神奈川・横浜大会(2019.10/8-9)
- ・南関東ブロック自立援助ホームスタッフ研修会(2019.11/19-20)
- ・千葉県内自立援助ホーム定例会(2ヵ月毎)

研修(内部)

- ・外部研修の施設内周知と職員の資質向上(年間)

※千葉県より、研修等事業補助金 222,000円をいただきました。

7. 会議

- ・毎月1回

8. 年間の利用状況 (1日付在所)

単位：名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
措置	1	1	1	1	2	3	5	5	5	4	4	4
一時保護	0	0	0	0	3	2	0	0	0	0	1	0
合計	1	1	1	1	5	5	5	5	5	4	5	4

令和元年度
事業実績報告書

グリーンヒルの心

- 一、ご利用者の笑顔を大切に
- 二、地域福祉のパイオニアたれ
- 三、学ぶ姿勢を大切に



社会福祉法人 翠 耀 会

高齢者複合ケア施設
グリーンヒル八千代台

： 資料目次 ：

1. 本施設の特性（地域密着型）について
2. 建物立地等の概要について
3. 高齢者複合ケア施設構成事業所と事業経過について
 - 1) 特別養護老人ホーム（地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護）
 - 2) 小規模多機能型居宅介護（地域密着型）
小規模多機能型居宅介護サテライト（地域密着型）
 - 3) 短期入所生活介護（一般型）
 - 4) 居宅介護支援
 - 5) 訪問介護（介護・介護予防）
※（休止中）
 - 6) 放課後等デイサービス（法人系列事業）
 - 7) 自立援助ホーム（法人系列事業）

1. 本施設の特徴(地域密着型)について

平成18年4月1日改正介護保険法により創設された、日常生活圏域という区域で提供される介護サービスで、特に認知症や要介護度の高い高齢者を主たる対象に、住み慣れた地域、自宅での生活を継続できるように支援を目指す。

2. 建物立地等の概要について

1) 八千代市について

千葉県八千代市は、千葉県の北西部に位置し、千葉市中央から北に13km、船橋市から東に11kmのところのところに位置する。地勢は平坦な台地で、標高は高い所で、30m程度、地表は関東ローム層に覆われ、市域の中心部を南北に「新川」(印旛沼放水路)が流れている。市の木:「ツツジ」、市の花:「バラ」、生産品の代表は「梨」。

2) 隣接している自治体について

千葉県習志野市、(習志野第1空挺団、野球・吹奏楽部等活躍する習志野市立習志野高等学校が所在)。

千葉県千葉市花見川区、(県道幕張八千代線を京葉道路方面へ。その先美浜区には、幕張メッセ、千葉ロッテマリーンズのホームスタジアム[ZOZOマリンスタジアム]が所在)。

3) 本施設について

開 設 平成19年10月 1日 : 法人本部施設と同 開設日

住 所 千葉県八千代市八千代台西 7-2-69

敷地面積 2,148.77㎡

延床面積 2,137.14㎡

建物造り 鉄筋コンクリート造り 3階建

交 通 電車:京成電鉄「八千代台駅」下車、西口より徒歩7分

車輛:県道幕張八千代線から、右左折30秒弱

住宅環境 八千代台地域は、千葉県の歴史に残る「八千代台団地発祥の地」にあり、住宅都市機構が近年整備したアミティ八千代台等の団地住宅地に隣接。

地 域 西南に「八千代市立八千代台西小学校」、「八千代台中学校」、「八千代台西保育園」が隣接。

買物施設 東習志野には、イオンモール店、八千代台駅西口に「アピオ等(旧八千代デパート)」他商店街。八千代台東口には、FMラジオのベイFM78のCM「ユアーエルム」等の商店街が立地する。

3. 高齢者複合ケア施設構成事業所と事業経過について

【1】特別養護老人ホーム（指定地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護）

定員： 29名 完全個室ユニット型

利用： 要介護3から5の介護認定を受けている方

限定： 八千代市に住民票登録のある方（他市町村の住民票登録の方は、利用できません）又、要支援者は、利用できません。

内容： 地域密着型サービス計画に基づき、可能な限り居宅における生活への復帰を念頭において、入浴、排泄、食事等の介護、相談及び援助、社会生活上の便宜の供与その他日常生活上の世話、機能訓練、健康管理及び療養上の世話を行うことにより、入所者がその有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるようにすることを旨とするものであり、常に運営の向上に努めなければならない。

□ 特別養護老人ホーム利用者状況 □

【1】男女別在籍状況（定員29名）（令和2年3月31日現在）

男 性	女 性	計
4名	24名	28名

【2】年齢別状況（令和2年3月31日現在）

性別 \ 年齢	65歳未満	65～69歳	70～74歳	75～79歳
男 性	0名	0名	0名	1名
女 性	0名	0名	1名	2名
計	0名	0名	1名	3名
性別 \ 年齢	80～84歳	85～89歳	90歳～	総計
男 性	0名	1名	2名	4名
女 性	4名	6名	11名	24名
計	4名	7名	13名	28名

平均年齢 88.2歳

(男性平均88.3歳)

(女性平均88.2歳)

最高齢100歳(女性) 最小齢74歳(女性)

平均入所期間 55.9月

(男性平均31.1月)

(女性平均60.1月)

【3】 要介護度別状況

(令和 2年 3月31日現在)

性別\区分	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
男性	0名	0名	0名	4名	0名	4名
女性	0名	0名	1名	8名	15名	24名
計	0名	0名	1名	12名	15名	28名

年平均介護度 4.5

【4】 障害高齢者の日常生活自立度(寝たきり度) (令和 2年3月31日現在)

区分	J1	J2	A1	A2	B1	B2	C1	C2
男性	0名	0名	0名	0名	0名	3名	1名	0名
女性	0名	0名	0名	2名	6名	8名	3名	5名
計	0名	0名	0名	2名	6名	11名	4名	5名

【5】 認知症高齢者の日常生活自立度

(令和 2年3月31日現在)

区分	I	II	IIa	IIb	III	IIIa	IIIb	IV	M	自立
男性	0名	0名	1名	1名	0名	1名	1名	0名	0名	0名
女性	1名	0名	0名	1名	0名	3名	5名	11名	3名	0名
計	1名	0名	1名	2名	0名	4名	6名	11名	3名	0名

【6】 月別入所者の状況 (平成31年4月1日から令和 2年3月31日)

性別\月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
計	0名	0名	0名	0名	0名	0名
性別\月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
計	1名	0名	0名	0名	0名	2名

年度間の入所者数 : 計 3名

【6】 - 2 月別退所者の状況 (平成31年4月1日から令和 2年3月31日)

性別\月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
計	0名	1名	0名	0名	0名	0名
性別\月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
計	0名	1名	0名	0名	0名	2名

年度間の退所者数 : 計 4名

【7】 月別平均入所者数 (平成31年4月1日から令和 2年3月31日)
(短期入所生活介護含む)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
総数	39.0	39.0	39.0	39.0	39.0	39.0	38.7
月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	
総数	39.0	39.0	39.0	38.4	38.5		

【8】 月別医療機関への入院加療状況 (平成31年4月1日から令和 2年3月31日)

数	4月	5月	6月	7月	8月	9月
入院者数	0名	1名	0名	0名	0名	0名
入院日数	0日	22日	0日	0日	0日	0日
数	10月	11月	12月	1月	2月	3月
入院者数	1名	2名	0名	0名	0名	1名
入院日数	16日	15日	0日	0日	0日	4日

入院者延数： 5名 入院延日数： 57日

【9】 入所前住居状況 (令和 2年 3月31日現在)

性別	地区	八千代台東	八千代台西	八千代台南	八千代台北	高 津
男 性		0名	0名	1名	1名	0名
女 性		4名	7名	1名	4名	1名
計		4名	7名	2名	5名	1名
性別	地区	大 和 田	大和田新田	勝 田 台	村 上	上 高 野
男 性		0名	0名	2名	0名	0名
女 性		0名	1名	3名	0名	0名
計		0名	1名	5名	0名	0名
性別	地区	ゆりのき台	萱 田	緑ヶ丘	平均	
男 性		0名	0名	0名		
女 性		1名	1名	1名		
計		1名	1名	1名		

【10】 施設退所者状況 (看取り介護者 2名) (令和 2年 3月31日現在)

性別	区分	在宅復帰	長期的入院	逝 去	そ の 他	計
男 性		0名	0名	0名	0名	0名
女 性		0名	0名	4名	0名	4名

【2】小規模多機能型居宅介護（指定小規模多機能型居宅介護）

定員：登録定員29名 1日あたりの通いサービス利用18名

利用：要介護1から5の介護認定を受けている方

限定：八千代市に住民票登録のある方（他市町村の住民票登録の方は、利用できません）又、当事業所の「通い」「泊まり」「訪問」のサービス提供に同意を示された方）、要支援者は、利用できません。

内容：小規模多機能型居宅介護サービス計画により、通いを中心として、
目的 利用者の態様や希望に応じて、訪問や泊まりを組み合わせてサービスを提供することにより、利用者の居宅における生活の継続を支援する。

□ 小規模多機能型居宅介護利用者状況 □

（本体：グリーンヒル八千代台）

【1】男女別利用者状況（令和 2年 3月31日現在）

男 性	女 性	計
12名	17名	29名

：登録定員29名

【2】年齢別状況（令和 2年 3月31日現在）

性別 \ 年齢	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳
男 性	1名	1名	0名	1名
女 性	0名	0名	0名	2名
計	1名	1名	0名	3名
性別 \ 年齢	75～79歳	80～84歳	85～90歳	90歳～
男 性	3名	4名	0名	2名
女 性	2名	5名	2名	6名
計	5名	9名	2名	8名

平均年齢82.5歳 最高齢101歳 女性

最少齢 56歳 男性

【3】介護度別利用者状況（令和 2年 3月31日現在）

性別 \ 区分	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
男 性	1名	6名	1名	3名	1名	12名
女 性	5名	3名	5名	1名	3名	17名
計	6名	9名	6名	4名	4名	29名

年平均介護度 2.6

【4】 利用者住居状況 (令和 2年 3月31日現在)

性別 \ 地区	八千代台東	八千代台西	八千代台南	八千代台北	高 津
男 性	4名	0名	1名	3名	1名
女 性	2名	3名	5名	4名	1名
計	6名	3名	6名	7名	2名
性別 \ 地区	高津 東	大 和 田	勝 田 台	ゆりのき台	大和田新田
男 性	0名	1名	1名	0名	1名
女 性	1名	0名	0名	1名	0名
計	1名	1名	1名	1名	1名

【5】 月別利用者状況 (平成31年4月1日から令和 2年3月31日)

項 \ 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
月末登録者数	29	29	29	29	29	29
訪問回数※	470	476	513	575	577	509
通い回数	277	288	266	278	303	287
泊まり回数	123	125	103	105	105	130
延べ日数①	859	899	870	890	887	870
延べ提供回数②	870	889	882	958	985	926
週平均回数	7.1	6.9	7.1	7.5	7.8	7.5
新規利用者	2	0	1	1	1	0
中止利用者	2	0	1	2	0	0
平均介護度	2.4	2.4	2.4	2.4	2.4	2.4
項 \ 月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
月末登録者数	28	29	29	28	29	29
訪問回数※	609	593	561	577	490	520
通い回数	309	327	342	323	321	326
泊まり回数	119	95	102	94	119	98
延べ日数①	899	868	899	899	856	903
延べ提供回数②	1037	1015	1005	994	930	944
週平均回数	8.1	8.2	7.8	7.7	7.6	7.3
新規利用者	0	1	1	0	0	3
中止利用者	1	0	1	0	0	5
平均介護度	2.5	2.6	2.6	2.6	2.6	2.6

月末登録者数 (年度平均) 28.7人 訪問回数 (年度週平均) 539.2回※ (月 200回以上)
 通い回数 (年度週平均) 503.9回 泊まり回数 (年度週平均) 109.8回

【2】-2 小規模多機能型居宅介護サテライト (指定介護・予防)

定員： 登録定員12名 1日あたりの通いサービス利用 6名

利用： 要支援1・2の介護認定を受けている方

要介護1から5の介護認定を受けている方

限定： 八千代市に住民票登録のある方、又当事業所の「通い」「泊まり」「訪問」のサービス提供に同意を示された方。

内容： 本体 (グリーンヒル八千代台) の内容目的に同じ。

目的

□ 小規模多機能型居宅介護サテライト利用者状況 □

(サテライトグリーンヒル勝田台)

【1】 男女別利用者状況 (令和 2年 3月31日現在)

男 性	女 性	計
1名	11名	12名

: 登録定員12名

【2】 年齢別状況 (令和 2年 3月31日現在)

性別 \ 年齢	~64歳	65~69歳	70~74歳	75~79歳
男 性	0名	0名	0名	0名
女 性	0名	0名	1名	3名
計	0名	0名	1名	3名
性別 \ 年齢	80~84歳	85~90歳	90歳~	総計
男 性	0名	0名	1名	計 1名
女 性	1名	4名	2名	計 11名
計	1名	4名	3名	計 12名

平均年齢84.1歳 最高齢94歳 女性

最少齢74歳 女性

【3】 介護度別利用者状況 (令和 2年 3月31日現在)

性別 \ 区分	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
男性	0名	0名	0名	0名	1名	0名	0名
女性	0名	0名	4名	4名	3名	0名	0名
計	0名	0名	4名	4名	4名	0名	0名

平均介護度 2.1

【4】 利用者住居状況

(令和 2年 3月31日現在)

性別	地区	勝田台	萱田町	八千代台西・北	村上	勝田
男性		0名	0名	1名	0名	0名
女性		6名	1名	2名	1名	1名
計		6名	1名	3名	1名	1名

【5】 月別利用者状況 (平成31年4月1日から令和 2年3月31日)

項	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
月末登録者数		12	12	12	12	12	12
訪問回数※		447	394	441	372	483	429
通い回数		107	86	104	135	126	106
泊まり回数		1	16	18	15	16	8
延べ日数①		350	372	360	372	372	360
延べ提供回数②		555	496	563	613	625	543
週平均回数		11.1	9.3	10.9	11.5	11.8	10.6
新規利用者		1	0	0	0	0	0
中止利用者		1	0	0	0	0	0
平均介護度		2.2	2.0	2.0	2.0	2.0	1.9
項	月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
月末登録者数		11	12	12	12	12	12
訪問回数※		418	361	376	379	366	307
通い回数		98	113	133	129	131	108
泊まり回数		5	10	16	2	6	19
延べ日数①		372	332	372	372	353	364
延べ提供回数②		521	484	525	510	503	434
週平均回数		9.8	10.5	9.9	9.6	10.0	8.3
新規利用者		0	1	1	1	0	1
中止利用者		1	0	1	1	0	1
平均介護度		2.2	2.4	2.1	2.2	2.2	2.1

月末登録者数 (年度平均) 11.9人

訪問回数 (年度平均) 397.8回 (月200回以上) ※

通い回数 (年度平均) 114.7回

泊まり回数 (年度平均) 11.0回 (本体にて)

【3】短期入所生活介護（一般型）

定員： 10名

利用： 要介護1から5の介護認定を受けている方

地区： 八千代市、習志野市、千葉市花見川区 他

内容： 介護者の冠婚葬祭、休養、外出等 1日から30日の利用等あり

短期入所生活介護の利用者状況

【1】短期入所生活介護利用者状況 (令和 2年3月31日現在)

項 \ 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
延日数	300	344	330	342	341	331
項 \ 月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
延日数	315	323	341	341	304	335

延日数：3,947日

【4】居宅介護支援

定員： グリーンヒル八千代台への相談者等

利用： 要介護1から5の介護認定を受けている方

介護予防支援事業一部業務委託（八千代台、勝田台地域包括支援センター）

地区： 八千代市、習志野市、千葉市花見川区 他

内容： アセスメント（課題分析）による、ケアプランの作成等居宅支援サービス。

居宅介護支援の利用者状況

【1】要介護度別支援状況 (令和 2年3月31日現在)

項 \ 区分	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
計	21名	27名	15名	7名	8名	78名

【2】月別利用者状況（平成31年4月1日から令和 2年3月31日）

区分 \ 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
新規利用者	0	4	7	2	1	2
休・中止者	0	4	2	3	1	4
区分 \ 月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
新規利用者	2	4	0	4	3	2
休・中止者	6	2	2	0	7	6

新規利用者：31名 休・中止者：37名 年間平均利用者：91.1名

予防委託件数264名 年間平均利用者22.0名

【5】訪問介護 ※平成30年12月1日付け、事業休止中

【6】放課後等デイサービス（法人系列事業）

事業所開設：平成28年3月1日

名称： グリーンヒルキッズ

住所： 八千代市村上南1-10-3 G-STARマンション1階B号室

最寄駅：東葉高速鉄道（村上駅）

定員： 利用定員10名 1日あたりのサービス利用10名

利用： 6歳から18歳までの就学児童（障害、療育、精神障害手帳所持者）

市町村の受給者証の発行を受けた方

内容： 放課後等デイサービスガイドラインによって、一人ひとりの個別支援計画に基づき、以下の活動を組み合わせて支援を行う。

- ・自立支援と日常生活の充実のための活動
- ・創作活動
- ・地域交流の機会の確保
- ・余暇の提供

※ 3月2日より、新型コロナウイルス拡大防止「休校要請」開始対応

（平成31年4月1日から令和 2年3月31日現在）

項 / 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
利用者数	19名	19名	20名	21名	20名	20名
事業所営業日数	21日	23日	22日	21日	23日	21日
利用延べ人数	195	187	178	206	187	184
新規利用者数	1	0	1	1	2	0
登録中止利用者数	1	0	0	0	3	0
1日平均利用者数	10.0	8.8	8.7	9.8	8.3	7.9
項 / 月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
利用者数	20名	21名	20名	21名	21名	19名
事業所営業日数	22日	22日	21日	20日	20日	22日
利用延べ人数	191	202	192	189	182	162
新規利用者数	0	1	0	1	0	0
登録中止利用者数	0	0	1	0	0	0
1日平均利用者数	9.4	8.9	8.3	9.0	9.2	9.0

利用者数（年度平均） 20.1名

利用延べ日数（年度平均） 187.9日

新規利用者（年度平均） 7名（0.6名）

登録中止者（年度平均） 5名（0.4名）

【6】－2放課後等デイサービス（法人系列事業）

事業所開設：平成30年3月1日

名称： グリーンヒルキッズゆりのき台

住所： 八千代市ゆりのき台3-3-5 AHCゆりのき台第2ビル1階101号室

最寄駅：東葉高速鉄道（八千代中央駅）

定員： 利用定員10名 1日あたりのサービス利用10名

利用： グリーンヒルキッズに同じ

内容： グリーンヒルキッズに同じ

※ 3月2日より、新型コロナウイルス拡大防止「休校要請」開始対応

(平成31年4月1日から令和 2年3月31日現在)

項 / 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
利用者数	22名	21名	22名	23名	21名	24名
事業所営業日数	21日	23日	22日	22日	22日	21日
利用延べ人数	209	199	194	220	188	195
新規利用者数	1	0	1	1	1	3
登録中止利用者数	1	1	0	0	3	0
1日平均利用者数	10.0	8.7	8.8	10.0	8.5	9.3
項 / 月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
利用者数	28名	26名	25名	26名	25名	23名
事業所営業日数	23日	21日	22日	20日	20日	22日
利用延べ人数	221	207	198	200	199	193
新規利用者	4	0	0	2	0	0
登録中止利用者数	0	2	1	1	0	2
1日平均利用者数	9.6	9.9	9.0	10.0	10.0	8.8

利用者数 (年度平均) 23.8名

利用延べ日数 (年度平均) 201.9日

新規利用者 (年度平均) 13名 (1.1名)

登録中止者 (年度平均) 11名 (0.9名)

【7】 自立援助ホーム（法人系列事業）

事業所開設：平成31年4月1日

名称：グリーンヒル若葉ハウス

定員：女子6名

内容：児童福祉法第6条の3、同法33条の6において、児童自立生活援助事業として第二種社会福祉事業に位置付けられ、義務教育終了後、他の社会的養護の措置を解除された方及び都道府県知事が認めた方に自立のための援助及び生活指導を行う。

(平成31年4月1日から令和 2年3月31日現在)

項 / 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
利用者数	1	1	1	4	5	5
措置委託	1	1	1	2	2	3
一時保護委託	0	0	0	2	3	2
新規利用者数	1	0	0	3	1	0
退所者数						
項 / 月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
利用者数	5	5	5	5	5	4
措置委託	5	5	5	4	4	4
一時保護委託	0	0	0	1	1	0
新規利用者数	0	0	0	1	0	0
退所者数				1		1

社会貢献の取り組み

高齢者複合ケア施設 グリーンヒル八千代台
【特養・SS・小多機(八千代台/勝田台)・居宅支援】

社会福祉法人の責務として

社会福祉法の第一条「福祉サービスの利用者の利益の保護及び地域における社会福祉の推進を図るとともに、社会福祉事業の公明かつ適正な実施の確保及び社会福祉を目的とする事業の健全な発達を図り、もつて社会福祉の増進に資することを目的とする」

方針 社会福祉法人の責務・法人理念の実現を目指し、施設の持ち得る機能・知識を地域の方々等へ提供していく支援体制の構築

目標 地域住民が主体的にできるように協力[後援]していく

1 料理教室

目的 料理教室では、地域社会の人々が交流を持って頂きながら、健康的な料理と簡単な調理の工夫を通じて、一人でも多くの人々に日常にお役立ちいただくための集いと情報の場を提供していく。

「食を通じた老人福祉施設での地域包括ケア推進事業」H26年度千葉県ワール事業として発展継続中

① 勝田台公民館 料理教室 (2018年より毎年協力)

「テーマ」 「簡単調理の工夫と日々の継続」～日常にお役立ち～

主催 勝田台公民館 協力 食街勝田台 [地域サークル]

実演・協力 高齢者複合ケア施設 グリーンヒル八千代台(栄養課・小規模多機能(八千代台))

開催日時 9/13・10/11・11/8 10時～12時 (3回) 延べ参加者数 45名

勝田台公民館 担当 下山様 食街勝田台 担当 石川 大澤

グリーンヒル八千代台 担当 小川管理栄養士 岡田サブリーダー 大竹

② 食街勝田台料理教室 (2015年より毎年協力)

「テーマ」 「簡単・お手軽・時短調理」～1つの食材から何品も～

主催 勝田台食街サークル 後援 勝田台包括支援センター

実演・協力 高齢者複合ケア施設 グリーンヒル八千代台(栄養課・小規模多機能(八千代台))

開催日時 5/17・6/21・7/19 10時～12時 (3回) 延べ参加者数 45名

食街勝田台 担当 石川 大澤 グリーンヒル八千代台 小川管理栄養士 高柳 大竹

③ 小学生の子を持つファミリー講座

「テーマ」 「早寝・早起き・朝ごはん」調理実習

主催 勝田台公民館 (家庭教育学級)

実演・協力 高齢者複合ケア施設 グリーンヒル八千代台 小川管理栄養士・大竹

開催日時 令和1年10月30日 10:00～12:00 延べ参加者数 4名[親子]

2 学校 福祉教育

① 八千代台西小学校 子どもサミットのための高齢者施設の防災についての見学会

主催 八千代台西小学校 子ども7名 教員2名

協力 高齢者複合ケア施設 グリーンヒル八千代台 小澤施設長 大竹

日時 令和1年7月9日 14:30~15:30

内容 高齢者施設の防災についての見学会及び質疑応答 防災用の設備等

① 高校生の福祉体験

主催 千葉県立八千代高校 後援 社会福祉法人八千代市社会福祉協議会

協力 勝田台地域包括支援センター 小規模多機能 特別養護老人ホーム グリーンヒル八千代台

日時 令和1年11月11日 13:25~15:15

会場 八千代高校 体育科 2年生 校舎にて

内容 2年 高齢者疑似体験・介護教室 41名 日高・倉田・大塚・保東・福留・吉村・上圀・大竹

「高齢者疑似体験キットで高齢者の体の変化を体験、高齢者に負担のない介助の方法について学習する。」

「海外の高齢者介護について ユマニチュード・バリアフリー・ノーリフトケア」

講義 30分 (PC・プロジェクター使用) 5体 5グループ 体験 (2人1組)

② 防災寺子屋

主催 八千代市立八千代中学校 後援 八千代市社会福祉協議会 (八千代台圏域各支会)

日時 令和1年10月25日 9:00~12:00

会場 八千代中学校 1年生 (約132名)

内容 DUG+地域に人とGワーク 大塚・倉田 / HUG 避難所運営ゲーム 保東・徳留・上圀

協力 高齢者複合ケア施設 グリーンヒル八千代台

③ 防災教室

主催 八千代市立八千代台西中学校 後援 八千代市社会福祉協議会 (八千代台圏域各支会)

日時 令和1年9月6日 10:00~12:30

会場 八千代市立八千代台西中学校 (約120名)

内容 HUG 避難所運営ゲーム

協力 小規模多機能型居宅介護 花島 上圀

④ お年寄りにもっと優しく 八西サロンへようこそ

主催 八千代市立八千代台西小学校 後援 八千代市社会福祉協議会

日時 令和1年10月28日 10:00~12:30

会場 八千代市立八千代台西小学校校内 5年生 (約73名)

内容 キャラバンメイト (認知症状について) / 高齢者疑似体験

協力 高齢者複合ケア施設 グリーンヒル八千代台 日高/小川/大竹/上圀/大塚/倉田/吉村/保東/徳留

⑤ 八千代台西小学校 4年 64名(2クラス) 福祉教育

主催 八千代市立八千代台西小学校 後援 八千代市社会福祉協議会

日時 令和1年10月10日 10:00-12:30

11/18,19 10:30-11:45 小学生との交流GHYにて 1日30名位

11/29⇒研修発表会(西小学校にて)

会場 八千代市立八千代台西小学校校庭

内容 車椅子体験(クラスに分かれ、交代で体験)

協力 高齢者複合ケア施設 グリーンヒル八千代台 大塚/倉田/上園/保東/徳留

3 サンコーポ勝田台自治会 餅つき大会 (2012年より毎年協力)

日時 平成31年12月1日 8:30~12:30

場所 勝田台幼稚園 園庭

主催 勝田台サンコーポ自治会 (歳末助け合い募金運動)

参加者 サンコーポ勝田台にお住まいの方々

協力 高齢者複合ケア施設 グリーンヒル八千代台 小澤施設長 日高 吉村 花島 白土 大竹
勝田台地域包括支援センター 武田センター長 松田 グリーンヒル通所介護 南

4 八千代市立八千代台西小学校 資源回収(2018年より)

目的 八千代台西小学校が資源回収を行っていることから当施設でも新聞やチラシ・雑誌等がゴミとして出ている現状であり、地域の「ゴミ減量運動・再生資源回収」活動に参加する。

回収日 毎月 第3水曜日

高齢者複合ケア施設 グリーンヒル八千代台 特養・SS・小規模・居宅

5 グリーンヒル八千代台お餅つき大会 (開設時より開催)

目的 年末恒例イベントとして開催し、地域の方々の交流の場として提供していく。

日時 令和1年12月27日 13:30~15:00 協力 阿武松部屋 力士

場所 グリーンヒル八千代台 ピロティー及び地域交流室

参加人数 約350人 利用者様86名 地域の方々・八千代台西学童保育及び八千代台西保育園

協力 八千代台西北支会、阪様、吉垣様 小日向様 小野尾様

6 グリーンヒル八千代台 夏まつり (開設時より開催)

目的 夏の恒例イベントとして開催し、地域の方々の交流の場として提供していく。

日時 令和1年8月7日 10:30~12:30

場所 グリーンヒル八千代台 ピロティー及び地域交流室

参加人数 約300人 (利用者様88名 地域の方々・八千代台西学童保育及び八千代台西保育園)

協力 八千代台西北支会、阪様、吉垣様 小日向様 小野尾様

中央介護福祉専門学校学生の皆様、オーケーサービス様、(株)八洋様、(株)安宅様

7 GHY地域サークル（2015年5月より）

目的 地域のお一人暮らしの方、閉じこもりがちの方など地域交流や趣味活動の一つとしてつるし飾り（さるぼぼ）を中心に開催

主催 小規模多機能型居宅介護 サテライトグリーンヒル勝田台 日高 花島

日時 毎月第4土曜日 10時～12時

開催 勝田台サンコーポD棟 集会室 参加者数 16名

協力 斎藤由美講師 勝田台地域包括 武田センター長 南デイホーム 菅野

8 勝田台駅前清掃活動（2015年より参加）

目的 多くの方が利用する駅前をきれいにしたいという思いから、40年前に京成勝田台駅前にあるサンコーポ自治会がクリーン推進部をつくり月1回の清掃を行なっています。「健康・家計・住居者交流」3R活動を積極的に取り組んだことが評価されH30.11 県内初「環境大臣賞」を受賞。

日時 毎月第3日曜日（雨天中止）9：00～9：30

場所 勝田台駅前から商店街（サンコーポ勝田台A棟～F棟）・花壇など

主催 サンコーポ自治会クリーン推進部 サンコーポ勝田台住居者 毎回 15名

協力 小規模多機能型居宅介護 サテライトグリーンヒル勝田台 花島 辻内 久下

9 園芸教室（地域開放講座）（2018年より）

主催 NPO法人 園芸療法勉強会 後援 高齢者複合ケア施設 グリーンヒル八千代台 担当 吉村

講師 NPO法人 園芸療法勉強会 園芸指導部長 八田 隆英

日時 月1回（第4火曜日） 13：30～15：00

場所 グリーンヒル八千代台 地域交流室 定員 20名/回（ご利用者及び地域の方々）

10 フラワーアレンジメント教室（地域開放講座）（2010年より）

主催 calm フラワーアレンジメント教室

後援 高齢者複合ケア施設 グリーンヒル八千代台 担当 吉村

日時 年4回（3月、5月、10月、12月） 14：00～15：00

場所 グリーンヒル八千代台 地域交流室 参加人数 10～15名/回（ご利用者及び地域の方々）

11 勝田台元気クラブ

主催 勝田台地域包括支援センター

協力 特別養護老人ホームグリーンヒル

高齢者複合ケア施設 グリーンヒル八千代台 小柳 NS 小川管理栄養士

日時 月1回（第3金曜日） 13：30～15：00

場所 勝田台文化センター 参加人数 30名/回

12 八千代台元気クラブ (2011年より)

主催 小規模多機能型居宅介護 グリーンヒル八千代台 担当 上田 白土

日時 毎週水曜日 13:30~15:00

場所 高齢者複合ケア施設 グリーンヒル八千代台(2階さくら部屋)

内容 編み物 絵手紙等 参加 地域の方々 定員7名/回

13 すばる 将棋教室 (2016年より)

主催 八千代市社会福祉協議会 八千代台西北支会

日時 毎月第3土曜日 10:00~12:00 (8月10月は除く)

場所 グリーンヒル八千代台 地域交流室 参加人数約30名/回

内容 活動場所の提供

14 勝田台支会 八千代台西北支会 (2018年より)

主催 八千代市社会福祉協議会 地域振興課

活動 年2回 福祉推進員として参加 小澤施設長(西北支会) 日高(勝田台支会)

15 サンコーポ勝田台 自治会便り発刊 (2018年より)

発行 サンコーポ勝田台自治会 発刊 毎月1日 部数400部

内容 自治会メンバーが書いた記事を頂き、発刊物のレイアウト及び編集・印刷作業を協力

協力 小規模多機能型居宅介護 花島 吉村 大竹

16 職場体験学習 (2015年より)

日時 令和1年6月13日(水) 14日(木) 9:00~15:00

対象 八千代台西中学校 2年生 生徒2名

内容 職場体験学習を通して、子どもたちの望ましい勤労観や職業観を養う

17 共生Café ふらっとホーム グリーンヒル (2019年より)

主催 八千代市社会福祉協議会

グリーンヒル八千代台 担当 日高 大竹 吉村 小川

日時 プレオープン: 6月10日(月)・7月8日(月) 15:30~18:30

本オープン: 9月2日(月)より 毎週月曜日・水曜日(祝日除く) 15:30~18:30

場所 グリーンヒル八千代台 地域交流室 延べ参加人数: 898人

内容 地域に向けた、集いの場所・学習支援・夕食(有料)の提供。

18 実習・研修・体験学習生等受け入れ（養成学校・大学・千葉県職員・特養職員対象）

① 松戸向陽高校（介護実習）（2015年より受入開始 毎年2～6名の受入）

3学年

期間：6月3日～6月21日（計15日間）、10月1日～10月23日（計15日間）

受入部署：小規模特養

人数：2名

2学年

期間：11月1日～11月22日（計15日間）

受入部署：小規模特養

人数：2名

1学年

期間：7月23日～7月25日（計3日間）

受入部署：小規模特養

人数：2名

令和元年度 延べ受入日数：48日間 延べ受入人数：6名

受入開始時～ 延べ受入人数：約21名

② 中央介護福祉専門学校（介護実習）（2013年より受入開始 毎年2～10名の受入）

A実習

期間：6月10日～6月13日（計4日間）

期間：6月17日～6月20日（計4日間）

期間：6月24日～6月27日（計4日間）

受入部署：小規模多機能

人数：計5名

B実習

期間：11月6日～12月4日（計17日間）

受入部署：小規模特養

人数：2名

C実習

期間：5月29日～7月5日（計23日間）

受入部署：小規模特養

人数：2名

期間：8月1日～9月4日（計23日間）

受入部署：小規模特養

人数：1名

D実習

期間：9月17日～9月19日（計3日間）

受入部署：小規模多機能

人数：1名

期間：11月19日～11月21日（計3日間）

受入部署：小規模多機能

人数：2名

延べ受入日数：81日間 延べ受入人数：13名

受入開始時～ 延べ受入人数：約63名

③ 県立保健医療大学（看護実習）（2010年より受入 毎年2～3名の受入）

期間：7月17日（計1日間）

受入部署：医務課

人数：2名

延べ受入日数：1日間 延べ受入人数：2名

受入開始時～ 延べ受入人数：約27名

④ 東京成徳大学（高等学校教諭一種免許証（福祉）取得希望）（2019年のみ受け入れ）

期間：令和2年2月22日～3月3日（計10日間）

受入部署：小規模特養

人数：1名

延べ受入日数：10日間 延べ受入人数：1名

受入開始時～ 延べ受入人数：1名

⑤ 義務教育教員免許志願者に対する介護等体験学習（2016年より受入開始 毎年25名前後の受入）

1グループ

期間：6月17日～6月21日（計5日間）

受入部署：小規模特養

人数：2名

2グループ

期間：7月1日～7月5日（計5日間）

受入部署：小規模特養

人数：2名

3グループ

期間：7月29日～8月2日（計5日間）

受入部署：小規模特養

人数：3名

4グループ

期間：8月5日～8月9日（計5日間）

受入部署：小規模特養

人数：3名

5グループ

期間：8月19日～8月23日（計5日間）

受入部署：小規模特養

人数：2名

6グループ

期間：9月2日～9月6日（計5日間）

受入部署：小規模特養

人数：2名

7グループ

期間：9月9日～9月13日（計5日間）

受入部署：小規模特養

人数：2名

8グループ

期間：9月30日～10月4日（計5日間）

受入部署：小規模特養

人数：1名

延べ受入日数：40日間 延べ受入人数：17名

受入開始時～ 延べ受入人数：約77名

※体験学習対象：秀明大学（14名）、日本大学（2名）、聖徳大学（1名）

⑥ 新採職員研修に係る体験学習（千葉県）（2015年より受入開始 毎年25名前後の受入）

Bグループ

研修日：10月3日

受入部署：小規模特養

人数：3名

Cグループ

研修日：10月4日

受入部署：小規模特養

人数：3名

Fグループ

研修日：10月10日

受入部署：小規模特養

人数：3名

Gグループ

研修日：10月11日
受入部署：小規模特養
人数：3名

Jグループ

研修日：10月18日
受入部署：小規模特養
人数：3名

Nグループ

研修日：10月29日
受入部署：小規模特養
人数：3名

Oグループ

研修日：10月30日
受入部署：小規模特養
人数：3名

Pグループ

研修日：10月31日
受入部署：小規模特養
人数：3名

延べ受入日数：8日間 延べ受入人数：24名
受入開始時～ 延べ受入人数：約104名

※研修生：総務部（行政改革推進課）、海匝農業事務所、畜産総合研究センター、豊富高校
所属部署 君津土木事務所、印旛土木事務所、こども病院、南部林業事務所、保健医療大学
中央県税事務所、君津児童相談所、健康福祉センター（香取・夷隅）
食肉衛生検査所（中央・東総）、中央家畜保健衛生所、
教育庁（教育振興部 文化財課、企画管理部 福利課）

⑦ 千葉県ユニットリーダー研修（2013年より受入開始 毎年4～5グループ（1グループ3名））

1グループ

期間：11月4日～11月8日（5日間）
受入部署：小規模特養
人数：3名

2グループ

期間：11月18日～11月22日（5日間）
受入部署：小規模特養
人数：3名

3グループ

期間：12月2日～12月6日（5日間）
受入部署：小規模特養
人数：3名

4グループ

期間：12月19日～12月13日（5日間）
受入部署：小規模特養
人数：3名

延べ受入日数：20日間 延べ受入人数：12名
受入開始時～ 延べ受入人数：約72名

※受講者施設：さつき園（木更津市）、名木緑風苑（勝浦市）、ポピー（館山市）、緑苑（千葉市）
袖ヶ浦瑞穂特別養護老人ホーム（袖ヶ浦市）、横芝光（山武郡横芝光町）
玲光苑なのはな館（成田市）、あんしん（茂原市）、長柄園（長生郡長柄町）
ほしの郷・長南（長生郡長南町）、清和園（千葉市）、はなみずき（八千代市）

※令和元年度 実習・研修・体験学習生 延べ受入総日数 231日 延べ受入総人数 77名

以上

令和元年度 勝田台地域包括支援センター報告書

1. 勝田台地域高齢者状況 (R1.9月末現在)

勝田台生活圏域人口16,210人 高齢者人口5,594人 高齢化率34.5%
介護認定者数959人 (要支援283人・要介護者676人)
総人口・高齢者人口には大きな増減ないが、介護認定者数は増加傾向になっている

2. 事務所来所者状況

1年間に地域包括支援センターに来所者延べ2,145人。関係機関も含めた実数を数えている。2月頃からの新型コロナウイルス感染予防対応として、不要不急の外出自粛から急激に来所者が減少した。

3. 総合相談事業実績

1年間の総合相談数延べ4,315件 (昨年度より約1,000件増) で、電話2,477件、来所1,115件、訪問655件となっている。相談は介護保険や介護に関するものが多い。医療・健康に関する相談や認知症に関する相談も多い。相談者としては本人・家族、介護支援専門員、医療関係者からの相談、気になる事としては、警察からの相談が18件と伸びている。
また、休日や夜間における対応件数は年間250件と急増している。複雑な問題を抱えている家族の相談も理由になっている。施設の関係職員の協力もあり休日や夜間の対応についてはワンストップとして相談対応してもらっているのはとても大きいと思われる。

4. 権利擁護に関する実績

虐待通報6件 (対応延べ件数498) と新規通報件数は前年度の11件より減ったが、対応延べ件数は逆に367件から増えている。虐待事例においては家庭における親子関係や経済的問題、アルコール問題や精神疾患など家庭に複数のニーズが絡み合っていることが多く他機関との連携も必要とされる場面が多い。

5. 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

○個別ケア会議及び生活圏域地域ケア会議実績

- ・民生委員と介護支援専門員・地域包括合同研修会
- ・個別ケア会議
- ・ユーアイやちよ勝田台事例検討会
- ・多職種連携研修会 (勝田台圏域 年3回)

○地域包括支援センター啓発活動

- ・支会主催の新春映画観賞会にて地域包括の啓発

○地域包括が実施した講話

- ・老人会 (銀の四葉会、三四和会、八勝園)

- ・ユーアイやちよ勝田台 オレンジカフェ
- ・緑町自治会

○地域住民への企画

- ・勝田台元気クラブ（10回開催 延べ参加人数 272人。平均 25.6人）
法人職員の協力を得ながら地域の方に楽しみに集ってもらえる場を作り上げている。様々なテーマの講話や高齢者向けの情報発信の機会にもなっている。
- ・みんな体操の広場
勝田台地域の認定者数の増加から、地域に向けて定期的な運動の機会の提供や健康への意識増進のため、中央公園で平日夕方にラジオ体操を開催。
7月末からの開催で延べ参加人数 6,076人。住民の関心も強く、年齢関係なく関心持たれている方の参加を得ている。参加者の声としては、毎日継続したことで体の動きがしっかりしてきたと効果を実感している方が増えていた。2月から新型コロナウイルス感染症の問題があり中止しているが、皆さんの体力低下が懸念される。
- ・八千代高校クリスマスイベント

○地域の団体の後方支援

- ・勝田台三世代交流ファミリーフェスタ・サンコーポレコードコンサート
- ・ふれあいサロン勝田台・お番茶の会・あの日に帰ろうコンサート
- ・新春映画観賞会

6. 介護予防普及啓発事業

- いきいき教室 15回開催

7. 認知症地域支援・ケア向上業務

- 認知症サポーター養成講座・・・勝田台の薬局・地域のサークル・八千代高校グループさくら

- 認知症サポーター交流会

- 子供向け認知症サポーター養成講座

- 認知症サポーターステップアップ講座

8. 第2層生活支援コーディネーター業務

- ・わがまち元気プロジェクト会議への出席 ・地域資源リストの更新
- ・担い手養成講座 ・1層協議体への参加 ・2層協議体の開催

9. 介護予防（要支援1・2）プラン作成 実績

1年間国保連請求総数2,056件（地域包括700件・委託1,356件）
年間新規65件となっている。現在は、要支援者の担当としては地域包括支援センター内で対応できている。

10. 連携のための会議

- 運営推進会議

- ・小規模多機能型居宅介護サテライトグリーンヒル勝田台運営推進会議
- ・ニチイケアセンター八千代勝田台運営推進会議
- ・デイサービス元気庵勝田台運営推進会議
- ・ういず・ユードイサロン運営推進会議

○民生・児童委員定例会議

○八千代市高齢者虐待防止連絡会

○八千代市生活支援体制整備事業協議体

○地域包括支援センター各専門職会議

11. 新型コロナウイルス感染症に関連した取り組み

八千代市から地域包括支援センター向けに新型コロナウイルス感染症の対応マニュアルや法人のマニュアルの提示を受けながら業務にあたっている。事務所内の感染予防対策の強化を徹底し職員の健康管理や住民の相談対応等に努めている。住民向けには民生委員から地域の困り事など電話で聞き取りを実施。特に問題としてはあがらなかった。

包括支援センター委託及び包括担当ケースについては、厚労省からのマスク配布の案内あり配布。自粛による活動量の低下が及ぼす影響などを鑑み、自宅のできる体操のリーフレットの配布を実施した。

令和元年度 総務課 事業報告

- I 外国人技能実習生および留学生の受け入れを通じて、日本で安心して質の高い介護技能を習得するための支援を行い、将来的に就業まで結び付けることを目標に介護人材不足の解消に積極的に取り組む。
- II 経営資源（ヒト・モノ・カネ・情報）に関する、有効活用・経費削減・適正管理を行う。

I 【 外国人雇用 】

○受け入れ状況

技能実習生（ベトナム国籍）：令和元年12月までに計4名受け入れ完了。

留学生：受け入れ予定2名から1名（スリランカ国籍）で対応終了。

○指導・援助

（技能習得）・先に受け入れた2名は技能実習指導のもと夜勤以外の業務は一人で就業可能。また、外部講師を招き介護に関する言葉を学び基本的なアセスメントシート作成レベルまで習得した。

・後から来た2名は技能習得と並行して、N3資格取得のため令和2年夏の受験を目指して試験対策講座を受講中。

（生活支援）・受入れ機関や生活指導員の定期面談や訪問を通じて生活状況をヒアリングし、課題ごとの指導を通じて改善を図った。

○職員とのコミュニケーションづくり

敬老会・忘年会等を通じて職員やご利用者・ご家族との交流を図った。

○令和2年度受け入れに向けた採用活動

令和元年7月に現地にて採用面接を実施し4名が内定した。新型コロナウイルス感染終息の目処が立ち次第、早期の入職を実現する。

【 入職時研修 】

○年2回（4月・10月）中途採用者を対象に実施した。

II 「資金」の適正管理

○収支状況を正確に把握し諸会議にて明確な報告を行うことができた。

「情報」の有効活用

○昨年秋の台風や大雨による自然災害、新型コロナウイルス感染症への対応報告をHPにて情報発信した。

「モノ」の管理

○新型コロナウイルス感染拡大のため、マスク等の衛生材料や消毒液が品薄状態の中、欠品を発生させないための工夫を行い在庫管理の徹底を図った結果、制限はあるものの令和2年秋までの供給は可能な見通しである。

以上